



学校だより

# 三年生の稽古

発行：校長 益子 朗

## コロナ感染拡大防止対策 重点期間3週間！

政府の緊急事態宣言、県教委の通知を受けて、白河市が拡大防止対策の徹底を呼びかけて3週間に基

染予防対策を、実施。濃厚接触者は出ていないが、市内ではクラスターも発生しており、感染してどこで誰が、いつ、どこで誰が、感染しているのか、状況が不明です。期間は2/7(日)までとなつてはいます。国の緊急事態宣言の延長も、あり、今日にも福島県や白河市から、今後の新たな対応の方針が示される可能性があります。別紙でお知らせいたします。各学校や家庭で、引き続き、徹底した消毒、手洗いを心がけてください。ご理解とご協力をお願いします。



校長のつぶやき

### プロフェッショナル

成功の喜びを  
幸せと感じるのがプロ  
失敗の言い訳を  
決して言わないのがプロ  
できて当たり前、  
ほめられもしないのがプロ  
できないの言い訳を  
仕方ないのがプロ  
人知れず努力することが  
惜しまないのがプロ  
自分を信じ、かつ  
決して自慢しないのがプロ

### M.K.ギターサイタル

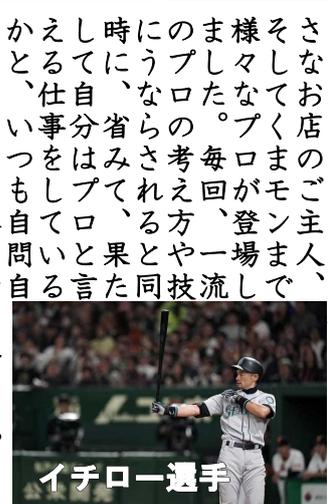
3年生の音楽の時間に、ギターサイタルによるリサイタルが行われました。アコースティックギターからエレキギター、そして弾き語りまで、素晴らしい曲の数々を奏で、受験や卒業を控えた3年生に素敵な音楽のプレゼントをしてくださいました。  
コロナ危機で合唱練習もできない中、3年生には心に残る素晴らしいひとときになりました。



なげが久保木先生に  
そっくり！



私が好きでよく見る番組に、NHKの「プロフェッショナル 仕事の流儀」があります。それこそ超一流のスポーツ選手や伝説の○○と呼ばれる○○の達人から、頑固な伝統の職人、街の小工芸の職人、街の小



イチロー選手



伝説の家政婦 志麻さん  
答せられます。どのプロにも共通して自分の仕事に妥協しないところではないでしょうか。たいてい周囲がほめてくれないと、自分が納得できないと、何度でもやり直したり、現状に満足せず常に上を目指し、私がお仕えしたある校長先生は、いつも「お前達は、プロなんだぞ」とか、「プロならどうするか考えろ」といふなど、叱咤激励してくださいます。など、叱咤激励してくださいます。など、叱咤激励してくださいます。



は身近なところにもいるのです。プロ

あるホームセンターで合鍵を作った時のこと。帰って来て試してみたら、鍵は全く開きません。お店に行くと、何人か別のお客さんが同じ用件で来ていました。どうやら不慣れな若い店員さんが機械を操作したらしく、使えない合鍵ができてしまったようです。すると、その店員さんが平身低頭で謝っている脇で、別の店員さんが一生懸命合鍵を作り直し始めました。この店員さんもまだ若い方でしたが、その作業の真剣さや客への丁寧な対応に、感心させられました。買った商品に不具合があれば、客は不機嫌になるもの。私も文句の一つも言おうかと思っていたのですが、この店員さんが面倒なやり作業を一生懸命やっていたことに感謝の気持ちで、いになりませんでした。しかも、それは自分ではなく、別の店員の失敗だったのです。言い訳も責任逃れもせず、仕事に真正面から取り組み姿勢は、見習わなければなりません。プロなら、仕事はうまくいって当たり前、失敗したときにこそどうするか、そこで真価が問われるのだと思います。また、仲間の失敗を責めるのではなく、助けようという姿勢は、お店の一つのチームとして考えている証です。エラーをした選手を責めるチームより、それを全員の力で取り返そうとするチームの方が強い決まっています。



# 心の鬼を退治しよう!



今年、暦の関係で2月2日(火)が節分でした。ご家庭で豆まきをされたところも多いでしょう。学校でも、給食で福豆やいわしが出されました。ところどころで鬼はどこにいます。よう。伝説上の魔物かもしれない。でも、実は一人ひとりの心の中に、もやつかいな鬼が潜んでいます。

- すぐに怠ける「怠け鬼」
- 嫌なことは後に回す「後回し鬼」
- なんでもほしがる「欲張り鬼」
- てきぱきと行動できない「つまずき鬼」
- 言い訳ばかりする「言い訳鬼」
- ゲームばかりしている「ゲームの鬼」
- 食べ物将我慢できない「食いしんぼう鬼」

心の鬼はなかなか手強く、簡単には勝てないものです。人間には単純なものではありません。自分には、自分に厳しく、自分と、自分を甘やかす自分と、勝てない諦めてしまったり、成長はありませんと勝てない諦めてしまったり、大切な目標に向かって3年、大きな目標に向かって3年、生は、きつと心の鬼も押さえ込んで、頑張り、鬼退治にトライしてみてください。

## 2月7日は 北方領土の日

北方領土については社会科で学習しますが、なぜ2月7日が北方領土の日なのか、改めてご紹介いたします。



右の地図の4島が、いわゆる北方領土問題に関わる島々です。歴史的に見てみましょう。

### ①江戸時代(鎖国中)まで

北海道は「蝦夷地」と呼ばれ、松前藩が管理していました。樺太島と千島列島(北千島・南千島)にはアイヌ人とロシア人が混在して住んでおり、特に日本と旧ロシアとの間に領土問題はありませんでした。18世紀になると、徳川幕府は外国船の接近などもあって警戒を強め、間宮林蔵らに命じて北方探検を進めました。

### ②開国後

1854年、日露和親条約で幕府とロシア帝国が国交を結び、両国と



千島列島は北千島まで全島が日本領と定められました(左図)。

### ④日露戦争後

1905年、日露戦争に勝利した日本はポーツマス条約を結び、樺太島の南半分を奪いました(左図)。

### ⑤第二次世界大戦時

日ソ不可侵条約により、両国は戦時中も領土を交換しませんでした。1945年8月、ソ連軍が樺太島の南半分を占領しました。南千島にも侵攻し、日本はポツダム宣言で、戦争で奪った領土を全て返還することと

なりました。1951年、第二次世界大戦の講和条約を結び、この中で樺太・千島を放棄しました。この千島条約はソ連とは結んでいません。

### ⑧日ソ共同宣言

1956年、日ソ両国はこの宣言で国交を回復し、ソ連は北方4島のうち、まず歯舞群島と色丹島を返還し、平和条約を結ぶことを約束しました。現在も、まだ日露両国は平和条約を結ばず、二島の返還も実現していません。

### ⑦サンフランシスコ平和条約

その後、今日まで、首相や外相がソ連(現ロシア)と交渉して領土問題を解決し、領土問題も②で日露が最初に国交を結んだとき、国境は択捉島と樺太の間と、4島は日本が戦争で奪った領土でありませぬ(戦争で奪ったのは南樺太のみです)。

この「日露和親条約」を結んだのが、2月7日(1854年)なのでこの日を「北方領土の日」と定めているのです。

日本も戦争で多くの領土を奪い、日本の歴史は大いに反省しなけり。この問題を解決する方法を、友好的に、この問題を解決したいものを見つけてくれる。

